

ちいさなともだち

作 やまぐち おさむ

sample



ちいさなともだち。

このおはなしは、おみずのなかで
がんばっていきている
いきものたちのおはなしです。

そう、ちいさな、ちいさないきものたち、
ちいさなたまごたち。
ちいさな、ちいさなおともだち。

sample



おいかわ
おはなしのはじまりだよ



ことひき
(こども)



ちいさな、ちいさなたまごたち。

たまごたちは、おもいます。

「ほくはだれ、おとうさんと
おかあさんのおかげでここにいるよ。」

「でも・・・おとうさん、おかあさんって
なんだっけ」

「ほくって、なんだっけ・・・」

まだ、おめめもありませんから、
いろいろなことがわかりません。

これから、どんどんおおきくなって、
いろいろなことをしていくでしょう



こんにちは

もぐずがに

Sample

しばらくたって、たまごに
おめめができました。

「おそとはあかるい・
そして、みんないる」

おめめができて、じぶんと
ほかのたまごたち、
そして、みじんこさん、
ぼるぼっくすさんたち、
いろいろなことが
みえてきます。

みじんこさんとぼるぼっくすさんが
たまごのまわりでふわふわおよいでいます。
たのしそう。

もうすぐたまごから
でてきて、ひろいおみすのなかを
およげるようになるのかな。

おそとはあかるい

ふわふわ
うかぶ

ふわふわ

さみたち
だあれ？

だあれ？

みじんこ
(どうぶつせい
ぶらんくとん)
ぼるぼっくす
(しよくぶつせい
ぶらんくとん)

あかるい



きべりげんころう
やあ、みんなできてきた

ようやくたまごからでてきて
みんなおおはしゃぎ。

「みんな、はやくでてこい」

「もうすこしでできるよ」

おやおや、あたまだけだしている
おさかなさんもいます。

「みんなはやくでてきて、
おそとはたのしーいよ」

はやくできて

もうすこしでできるよ



たまごからでてきたおさかなさんたち、
みんなそろって、これからとこへいくのしょう。

「うみとこへへへ」

「うみとこへへへ」

「わからないよ」

なかまがあつまっても
どこにいけばよいのか
わからないようです。

「おまえたちは、これから
かわのながれにのってうみにいくんだよ」

どじょうのおばさんが
おしえてくれました。

「うみ？、うみってなあに？」

「うみは、おみずのしょっぱいところさ
ここのおみずはしょっぱくないだろう」

「ぶうん、じゃあいこう！
おみずのしょっぱいところへ」

どじょうさんのおかけで
いくところがわかりました。

「どじょうさん、ありがとう」

「じゃあ、みんないくよ！
おみずのしょっぱいところ、うみへ」

「うた」



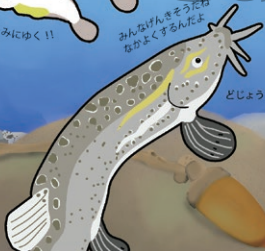
うみにゆく!!



みんなげんきそうたね
なかよくするんだよ



おばさん、たぬね？



どじょう



かまつか

おさかなさんたちは
どんどんかわのながれ
にのってうみの
ちかくにきました。
おみずもちよっと
しゃっばく
なってます。

「おみずがしゃっばいぞ」

「ここがうみかな」

「ここはうみのいりぐちだよ」
と、ひらつめがにさんが
おしえてくれました。

「きみたち、ここはなみがすこいから
きをつけたまえ」と、ほらさん。

ほらさんのいうとおり

おおきななみが

ざばーん、どーん！と、うなりをあげています。

「みんな、きをつけろ
おみずが、ざばーん、どーん！
ときてあぶないぞ」

くさくささんが、いいいます。

「おきにでなさい。」

おきにてれば、なみがちいさくなるから」

「はい、わかりました。ありがとう」



ほら

ここがうみかな

しゃっばいね

うん

sample

おきにてるよ



おきにてなさい



くさくさ



ひらつめかに

おきにでると
さきに来ていたなかまが
おむかえしてくれました。

「みんなよくきた
ここがほくらのおうちだ」

「ゆっくりやすめ」

ちよつとのあいだひとやすみです。

たまごからうまれて
ちよつとのほうけんしたあと
ひとやすみ。

りゅうほくのおうちで
ひとやすみ。

これから、うみをわたる
つばめさんもりゅうほくの
うえにのってひとやすみ。



ここがほくらの
おうちだ

みんな
よくきた

ほくらの
おうちもここさ

いしだい
(こども)

つばめ



うみでくらしてしばらくたちました。

おや、おさかなさんたちはちょっとおおきくなっているようです。

おやおや、なんだかおさかなさん
にしているおさかなさんがいまね。

「きみらはだれ？」

ぼくらとにているな

「ちがうよ、きみらが

ぼくらににているよ」

おたがいに、にているにている
いっています。

ちよっとおもしろいですね。

「まあ、いいか。にているから
きつとなかまだね、ともだちは」

ともだちが

できたようです。

ともだちの
なまえは、しらすさん。

「きみらはどこからきたの
と、しらすさん。」

「おみずの

しよっぱくないところから

きたよと、おさかなさん

「うん、ぼくらはすつと

おみずのしよっぱく

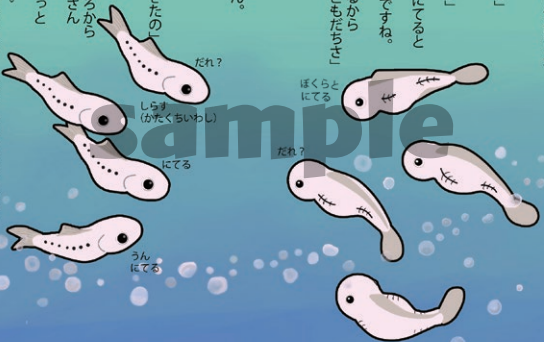
ところへへらしての。

「ここはいいところだよ、ひろいし、ごはんもいっぱいある」

「でも、たまにおっかないやつがくるよ」「おっかないやつがくるよ、しらすさんがいます。」

「おっかないやつ〜」

「うん、おっかないやつ」



おっかないやつのはなしを
していると...

あっ！

おっかないやつが
やってきました。
おおきな、おおきな
ぶりです。

しらすさんたちは
おおあわて。

「みんなにげる！」

「にげる、にげる!!」

おっかないやつだ、
たべられちゃうぞ！」

せっかくあたらしいなかが
できたのに
たべられたら
かたがた
たべられ
たかた
たべられ
たかた
たべられ
たかた

はやく、はやくにげて
ください。

「はやく、にげるよ！」

「うん、わかった
にげよう！」

にげるよ！

にげる！



ぶり

ごはん
はつけん！

ことひき
(おとな)

ちらら～

くまどりがえるうお

イサエ



ゆれる～
ゆらゆら～

すないろくらげ

いしだい
(おとな)



にげる、にげる
なかまたち。

もうすぐそこまで
ふりがおいかけてきています。
おおきなくちをあけて。

おさかなさんたちはちからのかぎり
にげます。

「いそげ、いそげ！
はやくにげないとたべられちゃうぞ」

「にげる、にげる!!」

「まって、まって

ごはんにげるな」

ふりははらへこのようす。

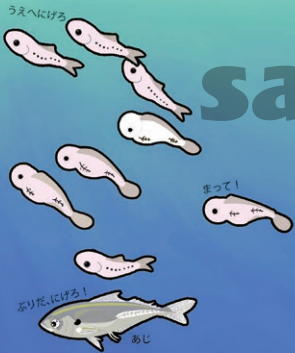
どんどんどんおいかけてきます。

ちかくにいたあじも
いっしょににげます。

「ふりにはかなわん
にげる、にげる!」

「みんなうえににげるんだ」
しらすさんがみんなにおしえます。

sample



「もうすこしですいめんだ。
すいめんにてたらじゃんぶするんだ」

「わかった」

いっしょうけんめいにげる
おさかなさんたち。

おいかけてくるぶり。
にげられるか
すごくしんばいです。



かいあし
(どうぶつせいぶらんくとん)



sample



おふいおぶるてうす
(くもひとでのこども)





ざばーん!!

すいめんにてで
じゃんぶ!

ぶりもじゃんぶ!

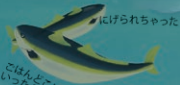
「みんな、たべられるな
めいじっぱいじゃんぶだ」



sample

ちやくちせいこう!





にげられちゃった

ごはんどこに
いった?

「うん、みんなにげれたよ」
 「おみずのしよっぱいところはおつかないやつがいるなあ」
 ぶりからにげることができてよかったですね。
 おつかないこともありますがもうしばらくうみでへらしていきませう。
 なかまといっしょに。

なんとかぶじににげることができました。

「みんなだいじょうぶか」

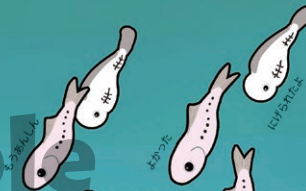
「うん、みんなにげれたよ」

「おみずのしよっぱいところは、おつかないやつがいるなあ」

ぶりからにげることができてよかったですね。

おつかないこともありますがもうしばらくうみでへらしていきませう。

なかまといっしょに。



にげられたよ

よかった

どうあんしん



それほほんのうみなんだけだ

きみたちもはやくにげろ



にげろ!

ぞえあようせい(かにのこども)

にげろ!



ふじつぼ

うふふ

いわがき

ぶりにおいかけられたあと、
しばらくして。みんな、おおきくなり
すがたもすっかりかわりました。

あれ、なんだかたいじな
おはなしをしているようです。

「おはなしがある…、
ぼくらは、もうすぐ
おみずのしょっぱくない
ところへもどらなくては
いけないんだ」



うみねこ

しらすさん、いいえ、
おおきくなつたかたくちいわしさんは
ちよっとびっくりしてききかえします。

「えっ、なんで？
ずっとここにいればいいじゃないか」

「うん、ずっときみたちとここにいたいけれど
ぼくらは、いかなければならない。
おみずのしょっぱくないところが
よんでるんだ」

どうしてもいかなければならないように、
かたくちいわしさんは。

「さんねんだ、…でも、またあえるよね」

「きつとまたあえるさ」

「すこしのあいだ、おわかれだ」

「すこしのあいだから
さよならはいわないよ」

「うん」

さみしいけれど、
かたくちいわしさんとおわかれ。
そして、もうすぐかわをのほります。

sample



さんねんだ…

かたくちいわし
(しらすさん)



はなしがある

おさかなさんが
みんなあつまつて
かわをのほりはじめました。

「みんな、どんどんのぼれ」

「ながれにまけるな」

「だいじょうぶせ」

「もつこともしやない」

ながれにさからつて
かわをのほるのは
すごくたいへんです。

でも、がんばります。

みんなでちからを
あわせて。

てながえび

かひいしゆいせがさ

しんじゆ
のぼれ

のぼれ

かわをのぼっていくと
いわのうえになにかがいます。

「なにかいるよ」

「ちよっと」

「おっかないな」

いわのちかくにいる
ごくらくはぜさんが
おしえてくれます。

「いわのうえにいるのはあおさぎ
きをつけないとたべられちゃうよ」

あおさぎ

「ほくらをたべるの？
また、おっかないやつだ」

sample

たべられちゃうよ

ごくらくはぜ

えぐりとびけら
(こども)

なにかいるよ



おおさが おおきなくちばしを
ひろげて まちかまえています。

「はやくはんこい」と、
おおさはかながえているに
ちがいません。

「みんな
きをつけて」

「おおさぎにつかまらないように
さっと」とおるんだ」

「いらいね」

うまく
とおれるでしょうか。

sample



かわせみ



あつ、あぶない！
あおさぎにつかまってしまいそうです。

「うわー、たべられちゃう」

「だれかたすけて」

そのときです。

「だいじょうぶか！、たすけてあげる」
だれでしょうか。

「とっ！、たいあたりだ！」

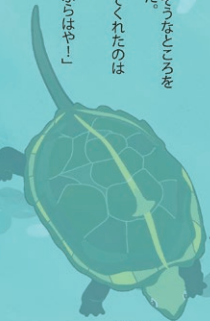
だれかがおみずのなかから
どどっとでてきて
たいあたり。

あおさぎにたべられそうなところを
たすけてもらえました。

たいあたりでたすけてくれたのは
だれでしょうか。

「ほくのなまえは、あぶらはやー！」

sample



いしがめ

ほくも
おなかすいたな



うわー
たすけて



だいじょうぶか

あぶらはや

だれかたすけて



「たすけてくれて
ありがとう」

「どういたしまして、たべられなくて
よかったね」

なかまもしんばいしてくれています。

「だいじょうぶ？きをつけて」

まだまだのぼっていくんだから」

「きみたちはどこにゆくの」と、

あぶらはやさんがききます。

「どんどんのぼってゆくよ」

「このさきにおみずがすごいながれている
ところがあるよ。がんばって」

あぶらはやさんがおしえてくれました。

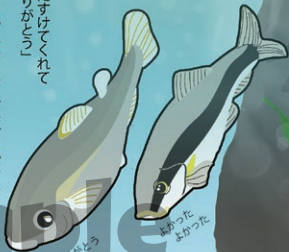
「わかった」

ありがとう、がんばるよ」

あぶらはやさんありがとう

あたらしいともだちのおかげで

たべられずにすみました。



ありがとう

よかった
よかった

だいじょうぶ
たつた？



いいてんきだな



おおよしのほり

sample



ためさ

ろくじぞう



「ここがあぶらはやさんが
いっていたおみずがすこく
ながれているところか」

ここをのほらないとさきに
すすめないようです。

「のほれるかな？」

「すこいおみずだ
でもがんばってのほらないと」

「うん」

「うん、のほろう」

おみずのながれにさからって
どんどんすすみます。

sample

どんどん
おし

おさかなさん
がんばれ



かわにな

すこいおみずだ



のほれるかな



ほたる

いちばんのりた



はぐろとんぼ

sample

だいふくだいふく



がんばれ、がんばれ！
ここをのぼればもうすぐつきます
おおきなかわへ。
おおきなかわにつけば
ひとやすみ。
かんばれ。

じゃんぷ！



うー



うー



やっとおおきなかわにつきました。

「みんなついたよ」

「たいへんだったね」

「うん、つかれたよ」

「みんな、ここはなんだが
たまごのときに

いたところにいるよっ」

「うん、いいにおいがする」



かも

たまごのところに
にているそうです。

おさんぽ
ちゅうです



こい

とてもうれしそう。

こどものころに

くらしなつかしい

はしよはうれしいことが

たくさん。

なつかしいはしよで

もっともっと、おとなになつて

ゆきます。

sample

おさんぽです



おさんぽかた

おさんぽ



おおきなかわでは
なかまとはなれてひとりぐらし、
くらしていくためのなわばりも
つくります。

なわばりをまもるため
ときにはなかまとあらそいます。

でも、けっしてなかがわるい
わけではありません。

かわでくらしていると

おさかなさんはどじょうさんに
あいました。

そう、たまごからうまれた

ときにあったどじょうさんです。

「どじょうさん、こんにちは」

「こんにちは、ずいぶん

おおきくなりましたね」と、

どじょうさんのおかあさん。

「どじょうさんはなにをしているの」

「たまごをまもっているのよ」

「たまご？」

「そう、わたしたちのたまごだよ。

わたしたちはおとうさん、おかあさんなんだ」

と、どじょうさんのおとうさんがいます。

「おとうさん、おかあさん……」

「そうよ、おとうさん、おかあさんよ」

「……」



やこ

どじょうの
おとうさんです

どじょうの
たまご

おかあさんです

どじょうさんだ

ほくのた

ここは
ほくのなわばり
だぞ

ほくの
なわばりに
はいるな

いやだ



sample

「おとうさん、おかあさんて
なんだっけ……」

「たまたまのときに
ちよっとしてた……
けど、わからないや」

「ほくってなんだろう……」

たまたまからおとなになるまで
いろいろなことがありました
でも、まだまだわからない
ことがたくさんあります。

でも、
きつと

いつか
わかるときがきます。

そのときまで
げんきにそだて
おさかなさん。

sample



おおきなかわのくらしがだいぶ
ながくなったころ。
おさかなさんのからだがんばだか
きれいになっています。

「…、むこうで
みんなあつまってる
なんでだろ」

「おーい、あつまれ
はやくみんなこい」

あつまれとよんでいるこえが
きこえます。

sample

「みんなあつまって
なにをしているの」

「みんな
おとなになって
からだがかきれいになったから
いくのせ」

「うん、あうん」

「きこい、うんうんわ」

なんで
あつまってるの

おーい
あつまれ



たくさんの中かまが
あつまりました。

みんながあつまって
たのしそうです。

「おすな、おすな

せまい、せまい、

せまいけど、たのしいな」

「つれしいな、やっぱり

みんないっしょがたのしいよ」

「でも、みんなあつまって
どこにいくの」

「おみずがしょっぱいところの
ちかくへいかないと」

「なんのために？」

「ここがほくらのおうちだよ」

「うん、そうだけど。

いかないといけないのせ」

「いいじゃないか、

みんないっしょにいこう」

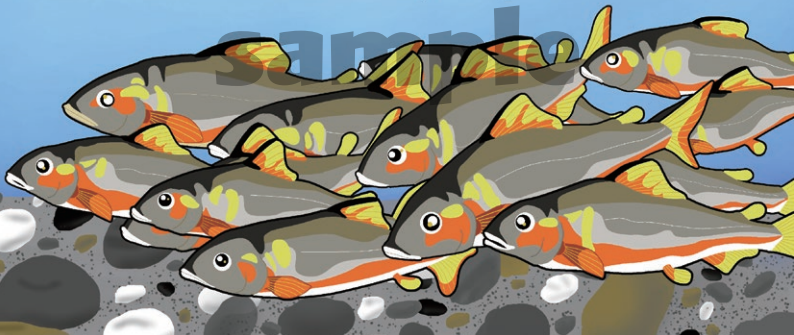
「そっか！」

「いっしょならへいきせよ。」

「みんなでいこう」

「わあ、くっくっ！」

おとなになったみんなで
かわをくだっていきます。



かわをくたっていくとおおきなはしがありません。
はしのうえで、おやこがなにかをはなしています。

「おとうさん、おかあさん
きれいなおさかなさんがいるよ。」

「あら、ほんとなんのおさかなかしら。」

おとうさんかいいいます。

「あれはあゆだね、これから、たまごをうみにいくんだ。
みらいへじぶんたちのこどもをのこすために。」

おとうさん

おかあさん

こども

「じゃあ、あゆのおとうさんとおかあさんね」と、
おかあさんがいいます。

「おさかなさんにもおとうさんとおかあさんがいるんだ」
こどもは、ちよつとびっくりしています。



はと

おさかなさんたちも、ちよつとびっくり。

「おとうさん、おかあさん、はくらのこと。」

「そうみたい。」

「あゆってなんのこと。」

「わたしたちのことみたい。」

「ほくらがおとうさん、おかあさんで、
あゆなの?。」

「おとうさん、おかあさん。」



きじ

「ぼくのなまえはあゆ。
そして、おとうさんだ！」

「わたしはおかあさん。
そして、たまごをうむの。」

「うれしー」

あゆさんたちは、じぶんがたれか、
おとうさん、おかあさんとは
なにかをはじめて
しることができたのです。
そして、たまごをうみにゆきます。

たまごからうまれて、
こどもになり、おとなになって
そして、たまごをうむのです。
おとうさん、おかあさんに
なったのですから。

かわそこにいるはぜさんが
はなしています。

「あゆさん、がんばれ、がんばれ」

「しばらくのおわかれたね
ちよっとさびしい」

「でも、またきつとあえる」

ぼくの
なまえはあゆ

ぼくは
おとうさん

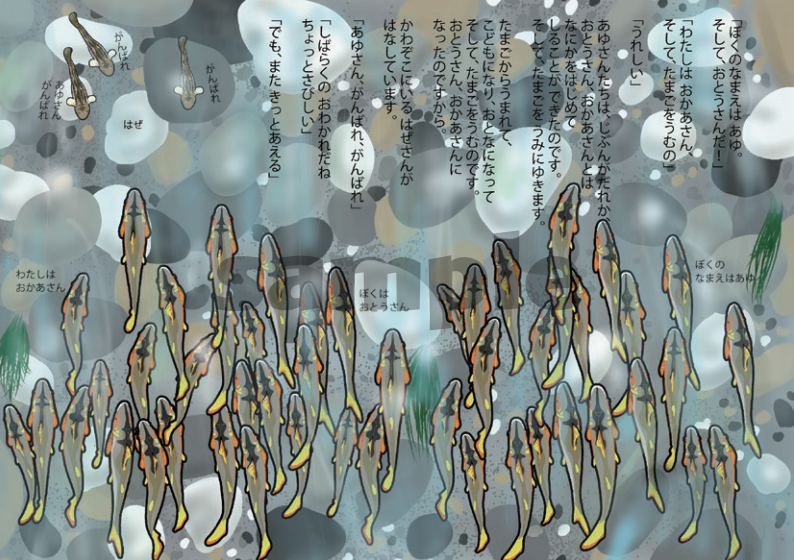
わたしは
おかあさん

がんばれ

がんばれ

はぜ

あゆさん
がんばれ



「もうすこしで、たまごを
うむばしょだ」

あゆさんたちはなかまを
しんばいしながら
すすみます。

「みんな
だいじょうぶか」

「うん、
だいじょうぶ」

「でも、ちよつと
こわい」

「こわくはないさ」

「みんないっしょにいる！
そして、みんなで
みらいへつなぐんだ」

「うん」

みらいへ
つなぐよ

こわくは
ないさ

ちよつとこわい

みんないっしょ



あゆたちは
ちからをふりしぼって
たまごをつみます。

おとうさん
(あゆ)

おかあさん
(あゆ)

おとうさん
(あゆ)

たまご



わあ！
きれいなたまごが
たくさん

ふな



「はあはあ、ちょっとつかれました」
あゆさんはくるしそうです。

そう、あゆさんはたまごを
うんだあと

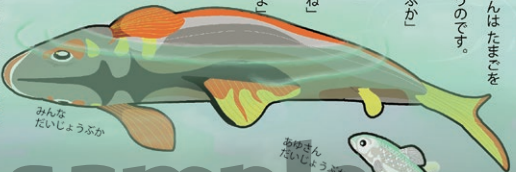
しんでしまうのです。

「みんな
だいじょうぶか」

「ちょっと
くるしこよ」

「みんな
がんばったね」

「うん、
がんばったよ」



みんな
だいじょうぶか

あゆさん
だいじょうぶか

おいかわ
(こども)

けんきたせ

つかれたよ

「いままでいろいろなともだちと
あった。
ほくらはもうあえなくなるけど、
たまごからこどもがうまれて
また、ともだちとあつてくれるよね」

「うん、きつと」

「みんな、ありがとう」

「うん」

sample



ばしゃばしゃ、というみずのおとがきこえてきます。

「だれかきました…」

もう、およくけんきもないあゆさんもぎつきました。

おかあさんともつひとりちいななごどもでしようか。

「おみずのなかはあふないからきをつけるのよ」と、

おかあさんがいいます。



おかあさん

「あゆさんがくるしそうだし、せいごた
おはなししたいから、がんばる」と、
こどもはいいいます。

「おともたちですか…」

あゆさんは、さいごのちからをふりしほって
ききます。



こども

「おともたちだよ、おわかれをいいにきました」
さいごのともたちです。
おわかれのあいさつをいいにきたのです。



だれか
きました

ことひき
(こども)

あゆさんを
たすけて！

たすけて！



「あゆさん、がんばりましたね
すっ、おうえんしてましたよ」

あゆさんの名前を覚えてくれてうれしい。

は、あゆさんを

やさしくてにのせてはなしかけます。

「たまごからうまれて、ちいさなさかな、
おおきくなってかわにもどって
たまごをうみました。」

おとうさん、おかあさんになるまで
いっしょうけんめいがんばりましたね」

「ゆっくり。ゆっくりおやすみなさい。」

ちいさな、ちいさなおともたち」

ありがとう
ともたち



おはなしのなかに来てきた、
あゆさん、どじょうさん、
いわしさん、あぶらはやさん、
そして、たくさんの

いきものたちは、

みんな、みんなおともたち。

あなたとすっとおともたち……。

「ありがとう」



ありがとう



ともたち…

もくずがに
(こども)

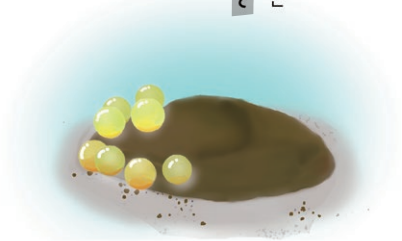
「ほくはだれ、おとうさんと
おかあさんのおかげでここにいるよ。」

「でも…、おとうさん、おかあさんって
なんだっけ」

「ほくって、なんだっけ…。」

「でも、おとうさん、おかあさんは
やさしくて…、
ほくはおとうさん、おかあさんが
だいすきなのをしってる…。」

sample



いしだえほん No.0156

ちいさなともだち

2019年7月12日 初版発行

作 やまぐち おさむ

印刷・製本・発行 石田製本株式会社

〒063-0836 北海道札幌市西区発寒16条14丁目3-31

TEL 011-676-4520

<http://i-bb.co.jp/>

©2019 Osamu Yamaguchi / Ishida Bookbinding

※本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。

また、本書を代行業者などの第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

落丁・乱丁はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

ISBN978-4-909939-55-5

sample

石田製本の直販サイト「いしだえほん」にて、
シリアスな物からシュールな物まで、楽しい絵本が続々発売中です！
<http://p-books.jp/ehons/>



9784909939555



1928771012000

ISBN978-4-909939-55-5
C8771 ¥1300E

定価：本体1,300円+税

ともだち
sample
ありがとう

